



相武生コン株式会社



●主な事業●

JIS認定工場として生コンクリートの製造・販売を行っています。

●企業紹介●

生コンクリート業界は戦後に誕生した業界で67年の歴史を持っていますが、その中で相武生コン株式会社は53年の社歴と実績を誇っています。幹線道路(246号線)に面した好立地から、東京・神奈川の高需要地区を網羅しており、広い敷地には大型の骨材貯蔵設備を備え、高品質、多品種の生コンクリートを安定供給しています。

町ではコンクリートミキサー車をよく見かけますが、生コンクリートがどこでどのように作られているのか、知っている人はあまりいないのではないのでしょうか。それでは、瀬谷区にある生コンクリート工場相武生コン株式会社横浜工場をご案内しましょう。

生コンクリート工場には大きなベルトコンベアーが2本あります。1本はダンプで運んできた砂利や砂を骨材貯蔵設備(骨材サイロ)の上部へ上げるためのもので、サイロの上部から種類別に投入して貯蔵します。2本目のコンベアーは骨材サイロの下部から必要量を製造プラントの一時貯蔵サイロに持ち上げるためのものです。製造プラント上部に貯蔵された砂利や砂はセメントおよび混和剤、そして水とともに混練ミキサーに落とされて混ぜられます。製造開始から積み込みまでおよそ3分、練り上がった生コンクリートはミキサー車に移され、すぐに工事現場へ向け出発します。生コンクリートはまさに生もので、規定により現場まで90分以内に届けなければなりません。ダイナミックな製造現場は外からはのぞくことが出来ませんが、当工場やミキサー車を見かけた際はこのようなことを思い出していただけると幸いです。



工場全景



ミキサー車



代表:代表取締役社長 加賀 裕規
設立年:1963年(昭和38年)4月15日
所在地:〒246-0007
横浜市瀬谷区目黒町10-4
TEL:045-923-8111
FAX:045-923-8116
E-mail:info@soubu-namacon.co.jp
URL:http://soubu-namacon.co.jp